

１ 社会・治安情勢

当地は政治的には安定しており、現在のところ緊急事態に発展するような反政府勢力等の動きは特段見られない。

また当地ではサハリン州が北方領土を「行政管轄」していることから、北方領土問題については、ロシアの他の地域と比較して極めて過敏な反応を示す傾向があり、例年２月７日（我が国では「北方領土の日」）或いは、その日に前後して当館建物前において、北方領土返還反対団体による抗議集会が行われている。なお、本年については同様の集会等は行われていないが、時の日露関係の情勢に応じて抗議集会の程度や規模も異なっており、今後も引き続き注意を要する。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）一般的治安情勢に関しては、殺人や女性などの弱者を狙った路上強盗や住居不法侵入等による窃盗、あるいは銃器を用いた凶悪犯罪、未成年者をも含む女性への婦女暴行、大麻等の薬物所持・売買事案が後を絶たない状況である。殺人は、飲酒によるトラブルに起因するものが多いが、金品の強奪を目的としたものも発生している。当地在留邦人が強盗被害に遭うケースも過去発生しており、引続き当地治安情勢への留意が必要である。

（２）治安当局の発表によれば、２０１２年にサハリン州において治安当局が認知し、登録された犯罪件数は１０，２１８件であり、２０１１年（１０，０２６件）に比較し、約２００件の増加となった。また以下内訳にもあるとおり、前年に比べ重度傷害や強姦の件数は若干減少したものの、殺人は１０件以上の増加、強盗や窃盗も微増、また薬物違法流通については略横ばいの状況である等、当地の治安情勢は引続き厳しい状況にある。

（３）主な内訳（括弧内は前年比）

ア 殺人及び殺人未遂	９４件（１１９，０％）
イ 重度傷害	１８５件（８８，９％）
ウ 強盗	３５件（１０６，１％）
エ 略奪	３９１件（８０，５％）
オ 窃盗	４１３９件（１０２，３％）
カ 強姦及び強姦未遂	６件（６０％）
キ 薬物の違法流通	１０６０件（９６，６％）
ク 詐欺	４６０件（１７８，３％）

ケ 粗暴行為 9 件（300%）

（４）邦人被害事案

特になし

（５）邦人以外の被害事案（殺人・強盗等凶悪犯罪の事例）

ア 強盗

- ① 10月7日、81歳の女性の年金生活者から、自宅にあった現金を盗まれたとの通報がユジノサハリンスク市警察に入った。この女性は自宅の修理をしようとして、新聞広告に載っていた修理業者に修理を依頼し、訪れた作業員が修理を行っていたところ、作業員は部屋の中に多額の現金があることに気付きこの現金を盗もうと考え、作業を終え料金を受け取り一旦家を離れた後、しばらくして再び同女性宅を訪れた。男は玄関を開けた年配の女性を突き飛ばし、部屋の中に侵入して、そこにあった現金14万ルーブルを奪って逃走した。通報を受けた警察による機動捜査活動の結果、ユジノサハリンスク在住35歳の男が拘束された。男は奪った金の一部を使い込んでいたが、残りの現金は警察により押収された。
- ② 10月14日、コルサコフ市内に所在する日用雑貨店を訪れた客が、店員の目を盗みレジから現金を奪う事件が発生した。サハリン州内務局によると犯行はユジノサハリンスク市に住む32歳無職の男によるもので、男は店員がどう反応するかまで予想できなかったらしく、レジから現金を奪うとすぐさま複数の店員が売上金を奪われまいと抵抗し、強盗犯は店員らによって取り押さえられた。男はその後駆けつけた警察に身柄を拘束され、捜査のため連行された。男が奪った現金3060ルーブルは警察に押収された。
- ③ 10月24日、救急隊員として働く男性からユジノサハリンスク市警察に強盗被害を受けたとの通報があった。ある通報現場に医師らとともに救急車で到着したところ、見知らぬ男が救急車に近寄ってきて、ハサミを取り出して現金を差出すよう要求した。救急隊員らは全部で14ルーブルしか所持しておらず、それを差出すと強盗犯はその現金を奪って逃走した。警察の機動捜査活動により、強盗犯の逃走した方面を捜索した結果、間もなく強盗犯は拘束された。強盗犯は38歳の前科を有する住所不定の男であった。
- ④ 10月30日、オハ地区警察は地元在住の37歳の男を強盗の容疑で拘束した。男は10月29日、強盗の目的である銀行に向かった。そこで男は銀行から出て来た1人の老女を認め、まるで親切心から老女に家まで送ると申し出、一緒に家までついて行った。玄関につくと男は本性

を現し、老女からカバンを力づくで奪いその場から逃走した。オハ地区警察による緊急配備により男は拘束され、その後の捜査で男は他の窃盗事件にも関与している事が判明した。

- ⑤ 11月14日ユジノサハリンスク市警察は、強盗の容疑で同市に住む18歳の男を拘束した。被害者は同市在住の35歳の男性。男性は会社からの帰宅途中で、男に襲われ、男は男性を暴行した後男性の衣服のポケット内を物色して現金及び携帯電話を奪いその場から逃走した。男は奪った現金で酒を買い、携帯電話は自分用として使用していた。被害は11500ルーブルに及んだ。男は度々警察に身柄を拘束され前科もあり、現在無職であることが拘束後に判明した。
- ⑥ 12月6日、ウグレゴルスク地区ボシュニャコヴォ村にて強盗事件が発生した。被害者の女性は同日友人と自身の誕生日を祝っていた。その後女性が自宅に帰宅したところ、突然背後から男が襲いかかり、女性の首を絞め持っていたカバンを奪おうとした。女性は抵抗し、床に倒れた際男の顔を見ると見覚えのある22歳の若い男であった。男は既に村人の間では日頃の自らの不良な振る舞いで有名であった。男は現金122500ルーブルの入ったカバンを奪うとその場から逃走し、女性は直ちに警察に通報した。通報を受けた警察により村から通じる道路は閉鎖され、集中的捜索が行われた結果、男はすぐさま発見・拘束された。
- ⑦ 12月20日夕方、ある男性がオハ市内で外出中、見知らぬ若い男が近づきこの男性に話しかけて来た。2人は色々と話をしているうちに打ち解け、若い男が男性に自宅で一緒に酒を飲もうと持ちかけ、男性はこれに応じ一緒に若い男の家に向かい人気の無い小路に差し掛かったところ、若い男は突然電話をしたいので電話を貸して欲しいと頼み、男性はこれに応じて男に自分の携帯電話を差出すと、男は携帯電話をポケットの中にしまい込んだ。男性が電話を取り戻そうとすると、男はポケットにけん銃を隠している、騒ぐと発砲すると脅し、男性の携帯を奪って逃走した。男性はその後警察に通報し、警察による機動捜査活動の結果、しばらくして携帯電話を奪った男を発見・拘束した。男は21歳無職で地元に住んでおり、かねてから警察が注意を向けていた男であった。その後の捜査で男はけん銃を所持していなかった事が判明した。
- ⑧ 12月末日、ユジノサハリンスク市内の食料品店販売員から警察に、店内で強盗被害にあったとの通報が入った。その日の日中、同店に背が高く、厳つい体格の男が来店した。男は店内に誰も居ないことを確認すると、ナイフを取り出して、店員を脅し金銭を要求した。店員が現金と自分の証明書類の入ったバッグを差出したところ、男はバッグを奪って

その場から逃走した。警察による機動捜査の結果、同市に住む23歳無職の男が拘束された。男は過去に同様の犯罪を犯した前科を持っていた。

イ 殺人

- ① 10月5日州捜査委員会ウグレゴルスク地区捜査局に、ボシュニャコヴォ村チェーホフ通に所在の住宅にて、同住宅に住む48歳の男性が頭部に内出血及び血腫が認めらる状態の死体で発見されたとの通報があった。司法解剖の結果、男性の死因は頭部への強い打撲による脳挫傷と判明した。殺人事件として犯人の捜索が行われている。
- ② 10月31日、ユジノサハリンスク市警察は、ジェレズノダロージュナヤ通に所在する住宅で殺人事件が起きたとの通報を受け、直ちに現場に急行した。現場に到着した警察は、41歳の外国人男性の死亡を確認した。警察はその場にいた36歳の外国から移住者してきた男を拘束した。拘束時男は酩酊状態であり、現場周辺の捜索により家の外に捨てられた状態で血痕のついたナイフが発見された。
- ③ 10月31日、ユジノサハリンスク市パポーヴィチャ通17番地に所持するアパートの一室で51歳の住人の女性が死体で発見された。州捜査委員会ユジノサハリンスク捜査局によると、被害者の女性は同所に息子と同居しており、前日2人は一緒に酒を飲んでいたところ、そのうちこの母親と息子が喧嘩を始めた。母親が息子を罵り続けていたところ、逆上した息子は母親の腹部を足で複数回蹴り続けた。息子が翌日になって、その場で死亡している母親を見つけたもの。死体の鑑定の結果、母親の死因は息子による腹部への打撲によるものと判明した。
- ④ 11月16日深夜、アニワ地区トロイツコエ村シレネヴァヤ通123番地所在の住宅が火事で全焼し、住宅の焼け跡から男性の死体が発見された。同死体には体に無数の切傷が認められた。警察は殺人事件として捜査を行い、その後殺人の容疑者である男を拘束した。拘束されたのは37歳アニワ地区在住の前科を有する男で、男は火事のあった当日被害者の男性と同男性宅で飲酒をしており、飲酒が進むにつれそのうち喧嘩となり、家主の被害男性が男を家の外に追い出したものの、しばらくして男が仲直りをしようと、再び男性宅を訪れたところ、再び喧嘩となり逆上した男が部屋に有ったナイフを手に取り、男性の胸と首を2回ずつ刺して殺害し、男性宅に放火して逃走したものの。
- ⑤ 11月某日、ユジノサハリンスク市在住の女性から警察に、女性の母親が行方不明になったとの通報があった。その頃ホルムスク市で警察が薬物使用により酩酊状態の男を拘束した。男は拘束時ある女性の名前を連呼し、更に「殺された、殺された」と口にしていた。男が正気を取り

戻すと、警察は誰が誰を殺したのかを男に問い質したが、男は答えなかった。後日男が口にした名前の女性は、母親が行方不明だと通報してきたユジノサハリンスクの女性と判明した。男は口を閉ざしていたが、しばらくして事情を説明し始めた。11月16日の夕方、男はユジノサハリンスク市パグラニーチュナヤ通に所在する、男が名前を呼んでいた女性の家を訪れ、その女性及び女性と同居する前科持ちの男と一緒に飲酒していたところ、その場にいた者同士が喧嘩となり同居の男が暴れ出して女性の母親の腹部を刺し、その場で殺害した。暴れた男は母親の死体をダーリヌィ村の林に運び、地面に埋めて遺棄した。12月21日、警察により母親の死体が発見され、事件の主犯である男は拘束後に逮捕された。

- ⑥ 11月30日夕方、29歳のドリンスク市在住の女がユジノサハリンスク市コムソモーリスカヤ通16番地所在の住宅に住む自分の知人と同居する女性に対し、知人との男女関係を明らかにさせようと同宅を訪れた。同宅に居た女性は40歳、妊娠5カ月の女性で、女が部屋に入ろうとするのを遮り帰るよう説得したが、女は着ていたコートのポケットからナイフを取り出し、相手の女性の鎖骨部分を刺した。女性はこの傷が原因でその場で死亡した。女は犯行当時酒によっており、ナイフを2本所持していた事が判明した。
- ⑦ 12月13日州捜査委員会ユジノサハリンスク市捜査局に、ユジノサハリンスクーオハ間を結ぶ縦貫道の東約5キロ付近にて雪の中に埋もれ身体に外傷を伴った状態でコルサコフ市に住む51歳の男性の死体が発見されたとの通報があった。捜査局捜査員は内務局警察と連携して捜査した結果、12月25日、この男性を殺害した容疑でユジノサハリンスク市に住む43歳の前科を有する男を拘束した。男は殺害した男性とかつて一緒に服役していた過去があり、出所後も男性は男とともに建設作業員として働いていたが、12月13日の夜、男は酒をのみ相当酩酊した状態になり、特に理由もなく衝動的に、その場に一緒にいた被害男性に暴行を加えて殺害した。その後死体を車に載せてノボアレクサンドロフスク郊外まで運び、死体発見場所付近に遺棄したものの。
- ⑧ 12月16日州捜査委員会ティモフスク地区捜査局に、同地区ノーヴァヤ通8番地所在のアパートの一室で59歳の同室に住む男性の死体が発見されたとの通報が入った。女性は手足に切傷があり、部屋には更に同じくナイフで怪我をした49歳と59歳の地元の男性及び亡くなった男性の31歳になる娘が居た。その後の警察の捜査によりハバロフスク出身の27歳の男が殺人等の容疑で拘束された。男は以前被害者等の部

屋に住んでおり、このことで男と被害者がトラブルとなり、被害者が自宅から男を追い出したところ、翌日男は酒に酔った状態で再び同部屋を訪れ、持っていたナイフでその場にいた住人の男性、その娘、男性の知人計4人を無差別に切り付けた。結果、受けた傷が原因で住人の男性がその場で死亡したもの。

ウ 暴行・傷害

- ①〔傷害〕10月10日午後、コルサコフ地区警察はコルサコフ市グヴァルジェイスカヤ通36番地所在のアパートの一室で住人が騒ぎ立てているとの通報を受け、同所に向かった。同所を訪れた女性警官が部屋で騒いでいる男に迷惑行為を注意したところ、男は女性警官を掴み壁に押し付けて鉄製の鎖で殴り、その際床に倒れた警官の首を男は更に絞めつけながら、殺すぞと脅した。男はすぐに駆けつけた別の警官らに拘束された。
- ②〔傷害〕10月17日深夜1時頃、とある女性から内務局警察に、ユジノサハリンスク市プルカエヴァ通35番地付近にて、同居人に嫉妬され背中を刃物で刺されたとの通報が入った。被害者の女性は出血状態で州立病院に搬送された。警察による搜索の結果、加害者の男はユジノサハリンスク市パヴェーダ大通29番地付近路上にて発見・拘束された。拘束時、男の身体搜索を実施したところ、ジャンパーのポケット内に刃渡り17センチの手製のナイフが発見・押収された。
- ③〔強姦〕11月12日、州捜査委員会ユジノサハリンスク市捜査局は強姦容疑でユジノサハリンスク市在住22歳の男を拘束したと発表した。男は11月5日市内パグラニーチュナヤ通24番地にあるアパートの一室に住む友人宅を訪れ、友人らと共に飲酒をしていた。そこには同室に住む友人と知り合いの17歳の少女も居あわせていた。夜遅い時間となり、友人達はそれぞれ帰宅し、同室に住む男性も用事で出かけ、部屋には酔って寝ているもう一人の友人と17歳の少女と男の3人となった。男は少女に性的関係を迫って来たが、少女に拒まれたため、台所にあるナイフを手に取り少女を脅迫しながら、性的暴行を加えたもの。
- ④〔恐喝〕12月13日コルサコフ地区警察は、27歳の地元に住む女を恐喝の容疑で拘束したと発表した。女は数日前地元のバーで被害者の女性と知り合い女性と仲良くなった後に、自分の言うことに従わないと暴力を振るうと脅した。被害者の女性は恐怖し、女の指示に従い、女のために冷蔵庫、テレビ、パソコン機器及び雑貨等を購入させられ、その額は総額53248ルーブルに上った。女は更に警察に通報すれば酷い目に合わせると女性を脅し続けたため、女性は当初怯えて警察に通報することが出来なかった。
- ⑤〔傷害〕12月15日、ユジノサハリンス

ク市警察に傷害事件が起きたとの通報が入った。警察が通報のあった場所に駆け付けたところ、そこには胸部に刺傷を負った男性がおり、男性はすぐさま病院に搬送された。被害者の男性は地元に住む51歳の女から事件のあった部屋を賃借していたが、2人は女が男性に貸している部屋の事で言い争いとなり、そのうち女がナイフを取り出して男性を切り付け怪我を負わせたもの。女は警察に傷害の容疑で拘束された。

エ 窃盗

① 10月13日午後6時頃、ショッピングセンター「シティモール」にて、総額75000ルーブル相当の衣料品複数を盗んだ未成年の少年少女らが店の出口にて拘束された。彼らは衣料品店の試着ルームに商品を持ち込み、盗難防止タグを剥ぎ取った商品を着用したり、バックに隠匿する等して盗みを行ったもの。

② 10月27日午後11時頃、ユジノサハリンスク市内にて巡回中の警察官が不審な3人組を認めた。3人は何か重そうで大きなものを肩に担いでおり、確認したところ大量の銅製の巻きケーブルを盗み運んでいたとが判明し、3人はその場で拘束された。

3人は当初、藪の中に捨ててあったのを拾っただけだと説明したが、3人の身体を搜索したところ、ワイヤーカッター及び目出し帽を発見した。また3人は他にも銅ケーブルの窃盗の罪で近日中に裁判に出廷する予定があることが判明した。3人は警察に連行され、銅ケーブルは証拠物件として押収された。

③ 11月1日午後8時頃、ドリンスク市内に所在するロシア正教の教会で警報装置が作動した。警察が現場に到着したところ、教会の窓の一部が割られているのを認めた。その約2時間半後、再び教会の警報装置が作動した。警察が再度現場を確認したところ、先ほど一部が割られていた窓のガラスが全部割られた状態であるのが認められ、更に内部に人影が見えたところから教会の外側を封鎖し、教会内を搜索したところ侵入者を発見し、拘束したもの。侵入者は、教会内にある金や銀の装飾品を盗もうとして侵入したことが判明した。

④ 11月4日午後11時頃、ユジノサハリンスク市在住の女性から警察にネベリスカヤ通の自宅前に駐車していた自家用車を見知らぬ者に荒らされたとの通報が入った。通報した女性の車からヘッドライトを分解して外した後それを持って車で逃走し、通報を受けた警察が犯人を搜索中に逃走車両を発見し、車内にいた男3人を拘束したもの。拘束時、車内には取り外して盗んだヘッドライトがあるのを被害女性が確認し、また警察による車内の搜索の結果、トランク内から薬物特有の臭気を発する

多量の乾燥植物片が発見され、併せて押収された。

- ⑤ 11月28日、ユジノサハリンスク市警察はアニワ市に住む25歳の女をスリの疑いで拘束したと発表した。女は仲間と2人でユジノサハリンスク市内の大型のショッピングセンターでスリを続けていた。被害者となるのは、店に訪れた客や店員で、手口は女の仲間が店の客を装い、店員や客に話しかけて注意が仲間に向いている隙に女が店員や客が持っている財布やカバンを盗むというものであった。財布の中の現金が奪われたり、暗証番号と一緒にになった銀行カードを使われATMから現金を引き出されるなどの被害が続いた。2人はいつものようにあるショッピングセンターでスリを行い、店外へ出ようとしたところで出入口周辺で警戒に当たっていた警察官に呼び止められ、身分証の提示を求められたため、2人は逃げようとしたが取り押さえられ、その場で拘束された。
- ⑥ 12月5日、ユジノサハリンスク市警察は、5件の窃盗事件に関し、同市に住む35歳無職の男を拘束したと発表した。男はドライバーを用いて立て続けに5台の車の側面ガラスを割る手口で車上荒らしを行い、5台目の車両からは現金15000ルーブルの入ったカバンも盗み取った。男は過去にも犯罪歴があり、犯行の際はとても用心深く、捜査員らの事前の入念な取締計画が男の拘束に繋がったもの。
- ⑦ 12月20日午後零時頃、ユジノサハリンスク市ミーラ大通に所在のショッピングセンター「パノラマ」にて警報機が作動した。同店内にある携帯電話やパソコン等の電化製品販売店に訪れた客の男が、隙を見て持参したドライバーで陳列棚の窓の鍵をこじ開け中に飾っていたタブレット端末、総額約13000ルーブル相当を盗み、店外に出ようとしたところ盗難防止装置が作動し、警備員により取り押さえられたもの。男はユジノサハリンスク在住のタクシー運転手で、過去に薬物売買の前科を持つ。男は通報を受け駆けつけた警察に拘束・連行された。
- ⑧ 12月26日、ユジノサハリンスク市警察は窃盗の容疑で地元在住32歳の男を拘束したと発表した。男は客を装って携帯電話販売店に赴き、しばらく店内にいたところ男は店員が誰も男に注意をむけておらず、また陳列棚の鍵が開いている事に気づき、陳列棚にある高価な携帯電話とタブレット端末を盗みその場を立ち去ったもの。男に対し現在6件の窃盗事件に関する刑事事件が提起され、更に2件の窃盗事件への関与についても捜査が続けられている。男はこれまで少なくとも7台の携帯電話及び2台のタブレット端末を盗んでおり、それらを質屋に売って手に入れた現金は自己消費した。盗まれた携帯電話等の一部は警察により押収された。

オ 薬物・銃器

- ①〔銃器〕１０月１日、ポロナイス地区警察に、銃器所持に関する情報が入った。情報に基づき警察が捜査した結果、ヴォストーク村在住の４２歳無職の男を拘束した。男の住む部屋を捜索したところ、製造番号の削り取られた１２口径の猟銃１丁及び同口径の銃弾２発をソファの下から発見・押収した。
- ②〔薬物〕１０月１１日、州不法流通麻薬対策局にコルサコフ地区ノヴィコヴォ村にある廃屋内に麻薬が隠匿されているとの情報が提供された。同局捜査員らが情報にある廃屋を捜索したところ、粉末状の大麻と類似の植物性の物が多量に入った袋を発見した。袋は押収され鑑定の結果、大麻７００グラム以上と判明した。現在被疑者不詳に対する多量の薬物の不法入手及び所持の疑いで捜査が行われている。
- ③〔銃器〕１１月１２日、ドリンスク地区警察に銃器の不法所持に関する情報が入った。警察は情報に基づき、ドリンスク市在住の２７歳無職の男の住居を捜索したところ、信号銃及びガス銃を発見・押収した。男は拘束され、現在捜査が行われている。
- ④〔銃器〕１１月２９日、スミルヌィフ地区在住５８歳の男性より、警察に対し自宅から食糧品が盗まれたとの通報が入った。通報を受けた警察が現場検証を行っていたところ、男性が自宅内に不法に所持していた銃器及び弾丸を発見した。発見されたのは１６口径の外国製の猟銃で銃身部分は他の銃器から付け替えられたものであった。その他口径の異なる多数の弾丸、火薬の入った缶３缶及び信号弾であり、全て警察に押収された。
- ⑤〔薬物〕１１月１５日、コルサコフ地区警察は集中取締によりノヴィコヴォ村に住む３８歳と４４歳の兄弟の男２人を、大麻の不法所持及び不法栽培の容疑で拘束したと発表した。拘束時、弟の身体捜索により２６００グラムの大麻を、兄の身体捜索により４００グラムの大麻をそれぞれ発見・押収した。捜査により、兄弟は村の郊外の林の中に親から譲り受けた僅かな土地を有しており、そこで大麻を栽培していたことが判明した。警察が同所を確認した結果、大麻が栽培されている畑を見つけ更に大麻草７株を押収した。
- ⑥〔薬物〕１２月４日、連邦麻薬流通対策局の発表によると、同局はこの度２３歳のウズベキスタン国籍の男を拘束した。男は一時ユジノサハリンスクに滞在しており、市内の医療機関で働いていた。同局が男の身体捜索を実施したところ、薬物らしき結晶粉末を発見・押収した。同粉末を鑑定した結果、ヘロイン１０４グラムであることが判明した。裁判所

の指示により同人は逮捕され、多量の薬物の不法入手及び所持により捜査が行われている。

⑦〔薬物〕１２月８日、税関と連邦保安庁サハリン州局は合同で中国から届いた違法薬物の入った郵便物を発見・押収した。この小包の中には緑茶のほか塩のような白色粉末結晶の入ったビニール袋が入っており、同粉末結晶を鑑定したところ、ロシア国内での流通が禁止されている麻薬・向精神薬に分類されるメタノン（当館注：合成大麻の一種）であることが判明した。小包内には約１００グラムのメタノンがあり、約１０００回分の摂取量となる。この小包はユジノサハリンスク在住の男２人がインターネットで注文をした事が明らかとなり、彼等は後に拘束された。

⑧〔薬物〕１２月１０日、州交通警察は集中取締によりユジノサハリンスク市に住む、向精神性の麻薬を不法に所持していた男を拘束した。２７歳の男の身体捜索を行った結果、向精神性の麻薬が入った透明の小袋５袋、総量５．８３グラムを発見・押収した。男は以前も窃盗の罪を犯しており、警察はかねてから男の行動を注視していた。

⑨〔薬物〕１２月１９日、州流通麻薬対策局捜査官は集中取締の折、ワニノからフェリーでホルムスクに到着した２９歳の男から２キログラム程度のハッシシオイル（大麻オイル）を押収した。捜査官が男の所持品を検査したところ、特有の臭気を放つ黒色物が入ったプラスチックのボトル５本を発見・押収した。鑑定の結果これらの物体はハッシシオイル１．８９３キログラムであることが判明した。男はユジノサハリンスク在住で、サハリン州内でこれらを売りさばく目的でハバロフスクで入手し持ち込もうとした。男は大量の麻薬を不法に入手、所持及び搬送した事実により逮捕された。

３ テロ・爆弾事件発生状況
特になし

４ 誘拐・脅迫事件発生状況
特になし

５ 日本企業の安全に係る諸問題
特になし